



上野原縄文の森開園15周年記念 上野原フォーラム 2017

何がスゴイ？

上野原遺跡

どう活かす？

上野原縄文の森



講演 (13:10 ~)

「史跡上野原遺跡の過去・現在・未来」

文化庁記念物課 水ノ江 和同 文化財調査官

発表 (14:05 ~)

「上野原遺跡の調査成果とその後の進展」

(公財)埋蔵文化財調査センター調査課 今村 敏照 調査第一係長

「歴史公園『上野原縄文の森』の多彩な活用について」

(公財)上野原縄文の森 古江 真美 学芸員

「文化財を活かした着地型観光について」

鹿児島県旅行業協同組合 本田 静 理事(兼)旅行事業部長

シンポジウム (15:25 ~)



参加無料

事前申し込み不要

平成29年

10月14日(土)

13:00 ~ 16:30

霧島市国分シビックセンター

多目的ホール

主催:鹿児島県立埋蔵文化財センター
(公財)鹿児島県文化振興財団 上野原縄文の森

共催:(公財)鹿児島県文化振興財団 埋蔵文化財調査センター
霧島市教育委員会

■お問い合わせ: 鹿児島県立埋蔵文化財センター 霧島市国分上野原縄文の森2-1
TEL: 0995-48-5811 FAX: 0995-48-5821
ホームページ: <http://www.jomon-no-mori.jp/>





上野原縄文の森開園15周年記念 上野原フォーラム 2017

上野原縄文の森が開園してから15年が経過し、縄文時代をイメージするために植栽された樹木等も大きく成長して、森の形成も進んできました。

開園以降、190万人近くの方々が来園し、展示施設の見学や縄文体験等を通して親しまれてきました。

また、この間、県内における発掘調査も進み、上野原遺跡で明らかになった縄文時代初期における個性豊かな南九州の特色を示す事例がさらに補完されてきています。

今回のフォーラムでは、上野原遺跡の今日的意義を再確認するとともに、上野原縄文の森のさらなる活用に向けた方策を討論・検討したいと思います。

何がスゴイ？

上野原遺跡

どう活かす？

上野原縄文の森

第1部

13:10～15:15

講演・発表

講演(13:10～)

「史跡上野原遺跡の過去・現在・未来」

文化庁記念物課 水ノ江 和同 文化財調査官

発表(14:05～)

「上野原遺跡の調査成果とその後の進展」

(公財)埋蔵文化財調査センター調査課 今村 敏照 調査第一係長

「歴史公園『上野原縄文の森』の多彩な活用について」

(公財)上野原縄文の森 古江 真美 学芸員

「文化財を活かした着地型観光について」

鹿児島県旅行業協同組合 本田 静 理事(兼)旅行事業部長

第2部

15:25～16:25

シンポジウム

シンポジウム「何がスゴイ？上野原遺跡 どう活かす？上野原縄文の森」

【パネリスト】

文化庁記念物課 水ノ江 和同 文化財調査官

鹿児島県旅行業協同組合 本田 静 理事(兼)旅行事業部長

(公財)埋蔵文化財調査センター調査課 今村 敏照 調査第一係長

(公財)上野原縄文の森 古江 真美 学芸員

(公財)埋蔵文化財調査センター調査課 真邊 彩 文化財専門員

【コーディネーター】

県立埋蔵文化財センター 大久保 浩二 次長兼調査課長兼南の縄文調査室長

縄文の森キャラクター
じょうもんちん

